

【弘法の清水】

秦野市内には湧水が多く見られる。秦野盆地の地下に丹沢などの山からの水が溜まっており、各所から水が湧いています。

護摩屋敷の水 龍神の泉 葛葉の泉 まいまいの泉 若竹の泉 等の湧水があります
神奈川県の内、秦野市をはじめ山北町、松田町、大井町、中井町、開成町、清川村、愛川町、箱根町、真鶴町、座間市、川崎市多摩区は水道として地下水を使っている

【田原ふるさと公園】

秦野市の東地区にあり、鎌倉幕府三代将軍、源実朝公の首が葬られたと伝えられている「源実朝公御首塚」をはじめ、周辺の金剛寺、大日堂、波多野城址、ヤビツ峠、自然観察の森など、中世の歴史を伝える史跡とめぐまれた自然の中にある公園です。

木造二階建ての「ふるさと伝承館」には、農産物直売所、そば処「東雲」、そば道場、漬物加工施設が入っています。また、公園内にはそば粉を製粉するための水車小屋があり、のどかな農村風景がかもし出されています。

東地区は丹沢の山麓地帯に位置し、少量多品種の農業生産が行われています。源実朝公首塚という史跡とのどかな農村地帯の中に「田原ふるさと公園」はあります。この公園を通じて地域農業の活性化および農業者と都市住民との交流を図り、地域農業への理解を図ることを目的に開設されました。

【そば処 東雲】

玄そばを公園内にある水車小屋で石臼製粉し、「全国名水百選」の丹沢山麓から引いた湧水を使い、「ひきたて」「打ちたて」「ゆでたて」の三七二そばを提供しています。

また、そば打ち体験は、初心者にも分かりやすく指導します。自分で打った「そば」は、そのまますぐに食べることができます。

【金剛寺】 臨済宗 建長寺派

金剛寺は、もともと小寺でしたが、鎌倉時代に武常晴（つねはる）が 3 代将軍源実朝の御首（みしるし）を当寺に持参して埋葬したことに始まるといわれています。

退耕行勇（たいこうぎょうゆう）を招いて木造の五輪等を建て実朝の供養をしました。その後、実朝の法号金剛寺殿にちなみ、金剛寺と改めました。

1250 年（建長 2 年）に、波多野忠綱（ただつな）が実朝の 33 回忌のため再興しました。本堂には、源実朝像が安置されています。

10 年ほど前、総ケヤキ材で立て直された。内部の調度、仏具類もケヤキで作られている。源家金剛三刹とは 本寺、鎌倉 祿寿寺（金剛祿寺）、和歌山県 金剛三昧院